



学校生活についてのアンケート②

I:援助要請スタイル尺度(永井,2013) II:援助要請スキル尺度(本田・新井・石隈,2010) ※II 1~4の下位項目①・②は報告者オリジナル

<p>I あなたが困ったことや悩むことがあったときのことを考えて教えてください 1 あてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ややあてはまる 4 あてはまる</p>	<p>2-② それは誰ですか(複数回答可能) ※1-②に同じ 3 負担に思わずに助けてくれる相手を何人か思い浮かべることができる</p>
<p>1 よく考えれば大したことがないと思えるようなことでも、わりと相談する</p>	<p>3-① それは何人ですか ※1-①に同じ</p>
<p>2 悩みをかかえたら、それがあまり深刻なものでなくても、相談する</p>	<p>3-② それは誰ですか(複数回答可能) ※1-②に同じ</p>
<p>3 比較的ささいな問題でも、相談する</p>	<p>4 誰かの助けが必要なとき、よい援助をしてくれそうな相手を選ぶことができる</p>
<p>4 困ったことがあったら、割とすぐに相談する</p>	<p>4-② それは誰ですか(複数回答可能) ※1-②に同じ</p>
<p>5 悩みが深刻で、一人で解決できなくても、相談はしない</p>	<p>5 自分が助けてほしいと思っている相手に余裕があることを確認できる</p>
<p>6 悩みは最後まで、自分ひとりで抱える</p>	<p>6 自分が困っていることや助けてほしいことを相手に直接話すことができる</p>
<p>7 悩みが自分では解決できないようなものでも、相談はしない</p>	<p>7 助けてほしい相手に直接頼めないとき、別の人に代わりに言うてもらうことができる</p>
<p>8 悩みがどのようなものでも、最後まで自分ひとりで頑張る</p>	<p>8 直接頼めないときには、話すこと以外の方法(手紙など)で援助を求めることができる</p>
<p>9 相談より先に自分で試行錯誤し、行き詰ったら相談する</p>	
<p>10 左記に自分で、いろいろとやってみてから相談する</p>	<p>9 困ったときの助けの求め方や頼み方を何通りか考えることができる</p>
<p>11 少しづらくても、自分で悩みに向き合い、それでも無理だったら相談する</p>	<p>10 自分が助けてほしい理由を伝えることができる</p>
<p>12 悩みが自分ひとりの力ではどうしようもなかった時は、相談する</p>	<p>11 なぜその相手に助けてほしいのかを説明できる</p>
<p>II 困ったことや悩むことがあったときのことを考えて教えてください</p>	<p>12 助けてもらうことで相手にどのくらい負担がかかるかを伝えることができる</p>
<p>1 自分の困っていることを理解してくれそうな相手を何人か思い浮かべることができる</p>	<p>13 自分が何に困っているかを自分の中で整理することができる</p>
<p>1-① それは何人ですか ○1人 ○2人 ○3人 ○4人 ○5人以上 ○思い浮かばない</p>	<p>14 自分の気持を言葉や身振り、表情などで伝えることができる</p>
<p>1-② それは誰ですか(複数回答可能) <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> 担任 <input type="checkbox"/> 副担任 <input type="checkbox"/> 顧問 <input type="checkbox"/> 学年の先生 <input type="checkbox"/> 他学年の先生 <input type="checkbox"/> 保健室の先生 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラー <input type="checkbox"/> 中学までの先生・塾の先生 <input type="checkbox"/> 校内の友人・先輩 <input type="checkbox"/> 他校の友人・先輩 <input type="checkbox"/> その他の人</p>	<p>15 その相手に何をしたいかをわかりやすく伝えることができる 16 助けてもらったら自分がどんな気持ちになるかを説明することができる</p>
<p>2 自分のことを真剣に助けてくれそうな相手を何人か思い浮かべることができる</p>	<p>17 助けてもらったらどれだけ楽になれるかを伝えることができる</p>
<p>2-① それは何人ですか ※1-①に同じ</p>	<p>ご協力ありがとうございました</p>